

序

会 長 千 葉 妙 雄

多賀城RCは仙台東RCをスポンサーとして、昭和47年3月25日創立し、同年6月18日国際ロータリーに加盟、以来創立10周年の記念すべき時を迎えました。

この間、佐藤特別代表、スポンサークラブ、歴代ガバナーをはじめ、各先輩クラブのご指導と会員各位のご協力、又地域社会の方々のご理解、ご厚情を賜りまして今日に至りました。会員一同と共に深く感謝を申し上げます。

本日は及川ガバナーを始め、パストガバナー佐藤一雄先生、分区代理今野耕次先生、近隣クラブの皆様、当クラブの初代会長遠藤先生、誠にありがとうございました。特にお忙しいところを当市伊藤市長さんのご臨席を賜りましたことを会員一同にかわりまして心から厚くお礼申し上げます。

そして、国際理解と親善のため、遠路はるばる姉妹クラブ大韓民国江陵クラブ李会長さんと共に多勢12人のロータリアンの皆様が、この記念事業にご出席いただき誠に感謝の念にたえません。

ここに10周年を節目として、クラブ会員一同と共にロータリーの原点に立ち帰り、「親睦、奉仕」、地域社会に貢献、且、世界理解と平和を推進して行く所存です。

最後に、今後諸先輩方の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

創立 10 周年を迎えて

実行委員長 三 浦 正 義

私たち多賀城クラブは、仙台東RCをホストに創立10周年を迎えました。私達会員、家族はガバナーをはじめ、ホストクラブ、近隣クラブから大ぜいの来賓をお迎えして式典を行うことができる幸せを心から満喫いたしております。

想えば、激しい世相の移り変りを経て10年、会員の異動に心を傷め、地域特色のより豊かなクラブとしての充実を祈念しつつ、ガバナー、先輩各位の温かいご指導、お励ましをいただき、輝やかなしい新生の日を迎えますこと心から深い感謝とお礼を申し上げます。感激と誇り、不安と焦燥……織りなす感慨を抱きつづけた10年、夫々の想いを静かに省りみてほしいと希って止みません。

本席はクラブの創設について、又今日の歩みの中で多大のご指導、ご高配をいただいた方々、そして会員と家族を中心に、ささやかな式典となりましたが、江陵のクラブの方々にもご参加をいただき、一緒にお祝い賜りますことも大きな幸せであります。

記念事業につきましても、質素ではありますが、豊かなまち多賀城のシンボルになるであろう中央公園の一隅に、“ロータリーの森”の種子を私たちロータリアンの手で蒔くことができました。今後は力を合せて肥培管理に精進することを相互に確かめ合いたいと思います。江陵クラブに対しましても真の世界平和のために友情を確かめ新しい出発の門出にしたいと思います。

ご参会の皆さま、私たちクラブのために一層のご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後になりますが、初代遠藤会長の退会に伴ない実行委員長の大役をいただき、総務委員長岩井元会長をはじめ会員各位の協力によりその責を果たさせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

お 祝 い の こ と ば



第 252 地区ガバナー 及 川 円 治

新緑、春たけなわの今日、多賀城ロータリークラブの創立十周年記念式典を挙行されますことは、会員各位にとって誠に目出とうと申し上げねばなりません。世間では、よく10年一昔と云われます。

貴クラブの創立は昭和47年3月25日となっております。実は、私は昨年10月1日、公式訪問で貴クラブを訪れた際に初めて知ったのですが、多賀城の市制施行も又、同年の昭和47年であり、つまり両者は同年齢ということになっているわけであり、勿論、偶然の一致でしょうが、記憶にも誠に好都合と言うものでございます。

さて、多賀城クラブの誕生には特別代表である佐藤一雄直前ガバナーのご努力もさること乍ら、貴クラブ創立会員各位のご熱意も大きな力となってこれに応えた結果であり、要するに三拍子が揃って結成となったものと思われ、同市もその後、目覚ましく発展し、殊に近くに仙台新港を有し、実に好ましい立地条件を持っており、貴クラブも誠に活気に満ちております。会員各位も各奉仕部門にわたり、ロータリー活動を実行されており、立派なクラブに成長されました。そして昭和55年6月には韓国江陵クラブと姉妹クラブを締結されるなど堅実な歩み続け、一步一步クラブの基盤を築き上げております。これも今日迄の代々の会長を初め会員各位のひたむきなご努力の結果であり、ご同慶に堪えません。

私は昨年7月1日、ガバナーに就任して以来、スタンレー・E・マッキヤフリーR I会長のターゲット「ロータリーを通じて、世界理解と平和を」のもとに今日迄皆さんと共に、ロータリーの奉仕活動を推めて参りました。皆さんもよく御存知の「奉仕こそ我がつとめ」と云う言葉がござい、第一に奉仕、第二に親睦と友情、つまり親睦と友情はロータリーを築き上げる二本の柱であるという基本的考えでござい。スタン会長は本年度中に世界9ヶ所で世界親善会議を開くよう提唱し、実施しつつあります。隣国、韓国江陵クラブとの姉妹クラブ締結も国際理解親善の一環でござい。又、インターアウトクラブの提唱が青少年の健全育成にもつながります。更にクラブ内の親睦を深めつつ友情を尚一層すす、地域に密着した奉仕活動により、今後十五周年、二十周年と歴史を積み重ね、増々充実したクラブに発展されますよう期待して止みません。最後に、会員各位のご健勝をお祈り致します。

お 祝 い の こ と ば



パストガバナー
特別代表 佐藤 一 雄

多賀城ロータリークラブの皆様、創立十周年お目出度う。心からお慶び申し上げます。

顧りみれば、あっという間に10年間は過ぎてしまいました。私が当時の国際ロータリー第352地区桜井文彦ガバナーより多賀城ロータリークラブ結成の特別代表の委嘱を受けたのは昭和46年4月10日でした。

当時、多賀城町は人口30,000位でその年11月に限定都市として市に昇格する予定でしたのでこの時を同じうして、ロータリークラブを発足させたいと思い、その作業にとりかかりました。その頃、多賀城町は工場誘致が極めて盛んで、既に東北石油、ソニー、佐藤造機等が進出しており、最低20名の会員獲得は容易なものと思われて居たのが間違いで、いざ蓋をあけてみると困難を極め、仙台東クラブの総力をあげての後援にも拘わらず、功を奏せぬまま7月を迎え、ガバナーは笹気幸助先生に変わり重ねて特別代表を委嘱されました。7月13日第一回の設立準備委員会を各パストガバナーの御出席を得て、仙台ホテルで開催され、ロータリーに関する説明を頂き、その後数回の会合を経て漸く、昭和47年3月25日創立総会を迎えホッとした次第です。

創立会員には仙台東クラブより遠藤信五郎会員を迎え、総員23名となりました。そして、5月3日R Iの承認を得て、全国で1,113番目、地区57番目、県内では28番目のクラブ誕生となりました。6月18日山本壮一郎宮城県知事、笹気ガバナー、地区全パストガバナー、ロータリアン及び家族の皆さんに参列を頂いて、多賀城市公民館に於いて盛大な認承状伝達式が行われました。

或る時には、会員の減少からその存続を危ぶまれることもありましたが、歴代会長をはじめ、幹部メンバーの非常な努力によりその難関を排除して、最近では大地にしっかりと根をおろして、立派なクラブに成長されました。又、地域社会の奉仕活動も活発で、昨年の市制十周年にはR I創立75周年記念事業の一環として、多賀城市総合体育館に素晴らしいブロンズ像を寄贈されました。更に国際奉仕として韓国(R I 365地区)江陵ロータリークラブと姉妹クラブ締結の実を挙げ、又青少年奉仕部門にも数

数の実績をあげております。

多賀城ロータリークラブの皆様，全員和を大事に，漸次拡大し，楽しい例会をつづけ，英知と努力を重ねて，更に飛躍的發展を遂げられることを切望致します。R Iスタンレー・E・マッカフリー会長は「ロータリーを通じて世界理解と平和を」とのターゲットを示されました。これこそロータリー究極の目的であると思います。どうか皆様頑張って下さい。茲に過去10年間に亘る貴クラブの御努力に感謝し，今後の大いなる發展を祈念し，お祝いのことばと致します。

祝 辞



多賀城市長 伊 藤 喜一郎

多賀城ロータリークラブ創立10周年記念式典が盛大に挙行されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

顧みますと貴クラブは、社会奉仕活動を目的として、本市各界のリーダーの方々により昭和47年3月25日に創立されて以来、はや10年の歳月が流れたのであります。その間、歴代会長を始め会員各位には、業界各界の連携を保ちながら、個人あるいは社会生活を通じて、奉仕と徳義の交わりを結び、ひいては国際間の親善を深められいよいよ発展を極めておりますことは、誠に同慶にたえません。

ご承知のとおり、戦後の我が国の経済は国民のたゆまぬ努力により、飛躍的な発展をとげたのであります。これが由緒ある歴史と豊かな風土に恵まれた本市におきましても、新産都市の指定を受けて以来、緑と工場のある調和のとれた都市として、急速な発展を見、今や人口も51,600人を数えるに至り、名実共に仙塩地域の中核を形成しているのであります。

一方市民生活においては、都市化現象がもたらす機械化や、能率化という観念に支配され、生存競争が激化して、人と人との心のふれあいがうすれ、生活様式に潤いが欠如しつつあるのが現状であり、貴クラブに寄せられる期待は誠に大きいものがあります。幸い貴クラブにおきましては、暖かい心づかいをもって市民の福祉向上と、教育文化の振興のため大いに活躍され、大きな成果をあげておりますことは、誠に喜びにたえない次第であり、ここに心から感謝と敬意を表するものであります。

私は市政を運営するにあたり、「文化のかおるうるおいのあるまち」づくりを基本目標に、「やすらぎのある住みよいまち」「健康と安全を守るまち」「文化をはぐくむ史跡のまち」「活力ある商工業のまち」の4つの都市像を目指し、その具現化に鋭意努力する所存でありますので、今後共より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに臨み、多賀城ロータリークラブの益々のご発展と、会員各位のご健勝を祈念してお祝いのことばといたします。

祝 辞

国際ロータリー第 365 地区
江陵ロータリークラブ会長 李 興 福

御客様の方々、総裁様、会長、会友皆様、今日我が大韓民国江陵ロータリークラブと姉妹結縁を結んで居る日本国多賀城ロータリークラブの創立十周年を祝う記念式に参席し得たことを無上の栄光と思います。

この記念式典を江陵クラブの会友達と、広くは全世界のロータリアンと一緒に真心をもって御祝い致します。

皆様はロータリーの創始者ポール・ハリスの崇高なる奉仕精神を承継した先覚者らしく、世界的偉業のため多賀城ロータリークラブを創立したと思います。10年たてば山川が変わると云う我俗言と同じく、皆様は世界平和と人類福祉のため、更に努力と協力、進んでは犠牲をつらなり、ロータリーの理想である「超私の奉仕」を尽しました。

このような業績を一つ二つと列挙し得ないが、皆様自ら静かに考えますならば、辛くて苦しかったその事々が、今日の輝やかなしい10周年の結実を築き上げたと思います。また、皆様の汗と努力が、世界の中での有富なる今日の日本に発展せしむるに寄与したと確信致します。皆様“ロータリアン”の努力がなかったならば、日本国の今日のような発展はいくらか遅くなったでしょうと思います。そして、現在の地球上では、いまだ局地的な戦争や飢餓、苦痛、物質文明の中での残災餘毒や疲れなど、多くの問題が平和の使者である我等“ロータリアン”を待って如ると思います。

我国との関係に於いても、国境を超越した友好親善が、ますますその親度を進め、急進的に向上して居ります。客月“ソウル”で開催された韓日親善行事には、多数の両国“ロータリアン”が参席し、盛大なる交流を行ない、画期的な契機を整えたと想起します。

私達“ロータリアン”は、永久不変な未来を約束したる姉妹クラブになって、もはや二年を過しました。この機会にもう一度、漸進的な発展あるよう誓約します。なお、日本国の“ロータリアン”は世界で最高の情熱を尽し、すばらしい活躍をしている姿を、見る度、聞く度に真の奉仕人であると実感して居ります。

我国のロータリアンは、反共第一線での国家保衛の任務と、ロータリアンの使命を完遂するため努力して居ることを伝えながら、多賀城ロータリークラブの歴代会長、役員、会友諸方々のその間の苦勞に深く感謝します。再び、今日の記念式典を祝いながら、未来の発展あるよう御祈りします。（原文）

10周年を祝って



初代会長 遠藤 信五郎

多賀城RCは昭和47年3月25日創立しましたので満10周年を迎えたことになり、誠に慶賀に堪えません。会員各位に心からお祝いを申し上げます。10年一昔と云われますが、ついこのあいだ認承状の伝達式を行った様な錯覚をおぼえます。

昭和46年、私は仙台東RCのメンバーでした。当時、クラブ拡大と地域発展の著しい多賀城に新たにクラブを造り、ロータリー理想の拡張を図ろうと、仙台東RCがスポンサーとなり、佐藤一雄会員(PG)を特別代表に、桜井、佐々木、笹気PGのご援助で設立の機運となり、不肖私が地域の関係から多賀城RC設立の骨になるよう皆様から説得され、はからずも初代会長となり23名のチャーターメンバーで翌年創立されました。しかし私も当時2年位のロータリー知識なのでメンバーの方々とは真実に白紙の状態からの勉強でしたが、佐藤特別代表や、故佐々木統一郎PGから細やかなご指導と理論の解明を受け、なんとかロータリー理想の一部を芽ばえさせ定着したのではと秘かに自負するものであります。

地域に於ける一職種一名の管理職に依る奉仕の達成はポール・ハリス理念を自ら会得して行動するものと、先輩から教えられ、更にその近道は友情とクラブ活動に尽るとも謂われた事を思い出します。私は会社経営の変更並に転出から昭和53年6月末を以て残念ながら退会を余偽なくされましたが、チャーターメンバーの方々を中心に10年間の地道な研鑽によって、今日の多賀城RCに成長されました。尚、地域社会への実践的奉仕活動と共に、一昨年は韓国の江陵クラブと姉妹クラブを結成し、又留学生の受入等国际奉仕にも力を入れられるなど、或いは若い会員の増加、出席率の向上に大いに寄与され愈々ロータリー理想に前進の姿は誠に感銘に堪えません。地区協議会、フォーラムに於いて更に勉強しロータリアンとして地域社会に大いに貢献して戴きたいと存じます。

最近の科学の進歩は驚くほどで我が国の技術進歩も目をみはるものがあり、その進化は亨益するものも大なると共に、反面例えば残滓の処理、公害の発生、ロボットの

誕生による失業の増加又は国際摩擦の起因となるなど弊害も続出している今日、心の糧と友情を益々求められることが多くなり、ロータリー精神の涵養が必要不可欠とも謂うべきと思考されます。故佐々木統一郎先生は「失敗を恐れず参加し、過去をふりかえり、よりよき将来に備えよ」と私達にしばしば云われました。

ロータリー実践と拡大への前進をふまえて、更にクラブが御発展されることと、皆様の健康をお祈りして創立10周年をお祝い申し上げます。

座 談 会

「 思 い 出 の 10 年 」

昭和 57 年 3 月 11 日

場 所 鳥 善 PM 5:30



出 席 者

(第 2 代会長) 三 浦 正 義

(“ 5 “) 小 関 清 隆

(“ 6 “) 宮 城 東 蔵

(“ 7 “) 新 実 勝 雄

(“ 8 “) 窪 田 保 記

(“ 9 “) 鈴 木 秀 男

会 長 千 葉 妙 雄

副会長 後 藤 新 寿

幹 事 谷 崎 国 夫

司 会(第 4 代会長)岩 井 吉 兵 衛

岩井 いよいよ 10 周年記念式典も近づいて参りました。これから各委員会も活発になっ
て行くと思いますが、本日は皆様方にこれまでのクラブの思い出や、忌憚のない御
意見をお聞かせ願ひ、小誌を作っておきたいと思ひまして御参加戴きました。

かえりみますと 10 年の歳月は皆様方にとってもさまざまな思い出が浮んでくるこ
とでしょう。先ずは準備委員長の三浦さんからどうぞ。

— ローターへの動機 —

三浦 本日は皆さん御苦労様です。先ず、多賀城クラブの 10 年を振り返ってと云う
企画をされました岩井先生に感謝致します。又、準備委員長として御指命戴き、関
係ポストの各会員の御協力に感謝しております。

ふりかえてみますと、チャーターメンバーとしての私は年少の方だと思ひます
が、当時クラブの中身もよく知らず、先輩会員から指導戴けるものと思ひ、あっさ

りとした気持で入会したようです。

岩井 第一回の説明会が昭和46年9月22日で、創立総会の経過は小関さんがよくメモされておりますが、10年前特別代表はどんな感じの方と思われましたか。千葉会長さんからどうぞ。

千葉 特別代表は真面目な方で、「千葉君お前必ず入れ」と云われ宮城さんらと一緒に3カ月位仙台東クラブの例会につれて行かれました。当時ロータリーは難かしいなぁと云う印象を受けましたね。

岩井 宮城さんは代表とどこでお会いしましたか。

宮城 千葉さんの紹介でしたが卒直に云って私みたいな者がと云う記憶があります。ロータリーは特権階級とっておりましたので。仕事の関係で遠藤初代会長は知っておりましたが、当時大場多賀城市長に会ってどうしたらよいか聞いたものです。市長は「お前に無理なことがあるかもしれないが、社会への貢献は自分だけでできない場合もあるから、時間上辛くてもやれるだけやれ、問題はお前の意志だ」と云われました。まあ、代表や遠藤さんと会い頼まれ半分の入門でしたね。

岩井 入門とは良い言葉ですね。三浦さんはどんな関係で。

三浦 道案内は仙台東クラブの市川さんでした。入会をすすめられるまでロータリーは全く知りませんでしたが、他クラブのチャーターナイトを汽車に乗って見に行ったものです。小関さんと塩原方面迄行ったこともありましたね。まあ時間のある人はやろうじゃないかが実感でしたね。

千葉 第一回の説明会は仙台ホテルで、柿野さんも一緒でしたが、大会社の社長さん達で、名刺交換などありまして食事も喉を通りませんでした。(笑)

三浦 今考えるとチャーターナイトに県知事が出席すると云う好遇に恵まれたこともよかったと思います。そう例のないことですね。市長は理解を示し激励された記憶があります。早速名誉会員にお願いしました。

岩井 小関さんは以前ロータリーの会員でしたそうですが、クラブ発足にあたっては如何でしたか。

小関 以前2年間釧路RCの会員でしたが、伝統のあるクラブで、やはりロータリーを理解できないままの入会でしたね。とにかく出席だと云われ半分位はメーカーで苦しい思いをしました。しかし、いろいろ知ってみてやはりロータリーは出席

だと云うことがわかってきましたね。

多賀城クラブの入会は20名に足りないのだと云う軽い気持での入会でしたので、当時あまり参考になるようなお手伝いはできませんでした。

－創立当時は－

岩井 私は創立年度の7月例会見学、10月入会でしたが当時チャーターメンバーの自己紹介などがよくあったことをおぼえています、発足当時の思い出などは。

三浦 当時、先輩の方がいましたので、ついて行くだけでよかったと云う気持ちがありましたね。

千葉 若いから会場整理など無我夢中でやったものでした。まあ500回もよくここまでやってこれたと云う感じです。

窪田 私は最初ライオンズをすすめられ、奉仕と云う言葉を初めて聞かされて馬の耳に念仏だと思っておりました。

その後遠藤初代会長が自宅にこられロータリーを説明されましたが、聞けば聞く程難かしく、保留していましたが、三度もこられました。商売の10年間をふりかえると、当時自転車一台でスタートして、皆さんにお世話になったことをなんらかの形で自分にできる範囲で奉仕するのが入会の動機でした。

三浦 会員構成が各層にわたっていない感じを受けましたね。ライオンズ発足の時期でもあり、ロータリーが小さく思われました。

小関 最初職業分類をやらせられ、充填、未充填の講義を受けましたが、地域が不案内で、どのような職業があるものか電話帳をしらべたりして作成したものでした。又、飲食店や農業関係の入会者がいないのを疑問に思いましたね。

鈴木 1年目にプログラム委員長を担当させられました。仙台東RCに行って御指導をお願いしたり、資料を見せていただいて当番制の年間スケジュールを作成し一年間を全うしました。又、仙台東RCの各委員長さんに卓話をお願いし、それからクラブの会員卓話に移行していきました。

三浦 鈴木さんは創立間もない頃で皆さん高く評価しておりましたよ。とにかく最初はお互いにかたくなっておりましたからね。

岩井 今でもプログラムの役割りはずっと生きていますよ。

千葉 それに仙台東RCの榎戸さんがよく指導してくれましたね。

宮城 私も榎戸さんにくどかれて入会したようなものです。(笑)

谷崎 そう言えば工場地帯からは会員がおりませんね。

三浦 よく工場地帯には足を運びましたが、本社が東京とか仙台で、既に仙台のクラブに入会している方が多かったですよ。又、当時の経済的な事情もあって会員の勧誘は思うように行きませんでした。

鈴木 無我夢中で入ったという感じですね。

—その後のクラブの動向は—

岩井 クラブの活動状況をどのように考えておられるのでしょうか。

小関 25名でスタートしましたが、転勤その他の理由や、金融機関が相ついで退会しましたね。

宮城 私の心配は24名を切ったらクラブの危機だと思い、又、20名を切ったら解散を宣言しなければならぬと感じましたよ。

三浦 近隣クラブ三役会などでは故佐々木P G、菅野P Gや先輩クラブの皆さんと種々交流を深める機会があり、クラブの活動が活発になりましたね。又、先輩クラブもたいへん親切にリードしてくれました。今でもそうですが、よく面倒をみてもらいましたよ。

新実 やはり7年目になりますが、窪田準備委員長のもとでのI G Fはクラブ創立以来の行事でしたね。多賀城ホテルで120名以上の登録で中身の濃いものと思いました。又、新入会員が8名ありましたね。

入会以前に長い準備期間を置いたので、入会以来密接な親睦関係ができました。地元会員もこの頃から増えましたね。

小関 よく感じるのですが、職場でやめる時は挨拶をするのに会員がやめる時挨拶する例が少なく、ロータリーと云う団体はどんなものかと残念でなりませんね。ロータリーの付き合いはもっと密度の濃いものであると私は思いますし、退会の際は気持ちよく送り出したいと思います。今後の課題としてよく考えなければ。

宮城 これは我クラブだけの問題でなく、企業が具合悪くなるとロータリーへ来る体力もなくなり、企業イコール会員であるから、よろしくない時が退会の時期と一致するでしょう。

小関 しかし手紙1本、電話1本、一言あるのがロータリーにふれた心ではないでしょ

うか。区切りをつけてほしいものですね。

三浦 退会をどのように防いだらよいのでしょうか。

窪田 ロータリーが楽しいと云う状態で各会員が参加しているかどうかが問題ですね。

ロータリーが苦勞だと感じている間は難かしいと思う。

後藤 この問題は歴代会長さん方に更にアドバイスを受けて御指導をお願いします。

谷崎 新会員はそれぞれクラブの良さを理解するまで時間がかかると思いますが、クラブ運営で魅力のないものがあることも聞いております。元会長や先輩会員にも言葉をかけてもらいたいと若い方々は云っております。例会場ではその辺をよく配慮してもらい長期欠席を防ぐようにしようじゃありませんか。

小関 第3木曜日夜間例会を提唱したこともありますが、1年間でやめましたね。昼の例会の限界もありますから月1回その場があれば程々リラックスムードにつながるとは思いますがね。何とか成功させたかった。例会で何かをしましょう、そう云うことが楽しい例会につながるとは思いますね。

宮城 提唱が大きすぎるのも疑問だし、ロータリーは必ずしもすべてができるかどうか。何か重点目標をかかげてやった方が良い場合もある。問口を広げても効果のないものもありますよ。

千葉 たしかに皆さんの考え方それぞれに神経を使って努力していますが、全部ができるかどうか、私も疑問に思うことがありますよ。

新実 親睦活動の状況がやはり問題になると思う。

宮城 それに現住所と職場が離れすぎている所にクラブの安定度が弱い面もある。

谷崎 私は宮城会長の時の入会ですが、聞きなれない言葉のロータリーを聞き、見学に行きますと前から知っていた岩井先生がおったりして次の例会で入会しましたよ。

小関 最初出席がどうかを良く見極めて入会をすすめることが大切だと思う。60%最低の意味をよく考えなければいけませんね。

千葉 やはりロータリー情報をきちっと教えなくては駄目ですね。

谷崎 そうなんです。私も誰か教育するものと思ったんですが、誰も教えてくれず結局ロータリーの友等を読んだりして情報を知っていたのが実情です。

ーロータリー活動を考えるー

岩井 ふり返ってみてロータリアンとしての皆さんの感想は。

宮城 この10年間回顧しますと原点は親睦と奉仕であるが、やはり自分が少しづつ作られていったことに最大の感謝をおぼえますね。強いられた奉仕でなく皆さんで作られた奉仕がこの10年間のクラブ発展につながったと思います。納得した奉仕が真髓となって我心に残っていき、それを育成してこそロータリーだと思います。

小関 同感です。会長時代札幌連合年次大会に参加しましたが、印象に残る講演を聞き、又、職業奉仕等を明解に講義を受けたり、これがロータリーだと思いました。

宮城 そうですね、あの頃から関心がとくに深くなって行きましたね。神格化されるような大目標は無理でも、少しづつ近づくことができると感じたのも5年目頃からですよ。

三浦 ロータリー勉強の講義を聞きに行った時代もありましたが、とにかく難かしく人生を極めた人が行動に移すように聞こえた頃もありましたね。

鈴木 しかし、今はわかりやすくなったような気がする。それだけ成長してきたのかな。(笑)

—姉妹クラブあれこれ—

岩井 それでは江陵クラブとの縁組苦心談を発起人の宮城さんから。

宮城 会長時代偶然、菅野PGから姉妹クラブ締結のお話がありまして、クラブがむずむずしていた時期でもあり、早速仲人役をお願いしました。まあ漠然とした状態でスタートし、新実会長へバトンタッチと云うわけです。

新実 長い目でみて意欲をもって実行しようとしたんですが、経済面や時期尚早な点もあり、次期会長に皆さん賛成多数でお願いしました。

窪田 しかし仮調印で入国手続等の難かしさがよくわかり苦勞しました。相手クラブも熱心で、領事館等に聞きに行ったりしましたが、あの時は一関クラブの方々にはよく指導して戴きました。私としてはIGFを含め非常に良い経験でした。

鈴木 でき上がったところで本調印の式典会長と云うわけで、ありがとう御座居ました。(笑) クラブを代表して挨拶など終生忘れられない思い出をつくることができました。これからはクラブに恩返しをしたいと思います。

宮城 発案者は私で責任もあり、最初アジア大会場で相手クラブと経費のかからない姉妹クラブを作ろうと云う話しを切り出すのが精神的に苦勞でした。しかし江陵クラブも同感のようで、よろこんだ次第です。相手クラブも安心感をもたれたと思っ

ております。まあ考え出してから4代目と云うわけで、長い時間をかけただけの意義はあったと思います。

鈴木 やはり菅野P Gと一緒に我々としては心強く、又、スムーズに姉妹クラブができたと思いますね。

岩井 皆さんのお話のように長続きさせることが将来に渉る問題でしょう。

千葉 今迄、先輩の皆さんのお話を聞きましたが、近隣クラブに先がけて江陵クラブとの姉妹締結ができ、ロータリーを通して国際理解ができることをうれしく思います。

後藤 いやあ、江陵の方々には病気の会員の面倒をみて戴いたり、ほんとうに親切にしてもらいました。次年度は星会員と一緒に名誉ある当クラブを盛り上げていきたいと思います。

岩井 姉妹クラブのお話になりますと皆さん目の輝きが違ってきますね。お話は尽きないと思いますが、時間もきましたのでこの辺で終りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

ク ラ ブ 現 況

1982. 4 現在

1. 名 称 多賀城ロータリークラブ
2. 創 立 月 日 昭和 47 年 3 月 25 日
3. 承 認 月 日 昭和 47 年 5 月 3 日
4. 認 承 状 伝 達 式 昭和 47 年 6 月 18 日
5. 区 域 仙台市行政区域のうち、七北田川の左岸の区域並に多賀城市行政区域のうち、下馬と多賀城橋を結ぶ国道45号線、砂押川（多賀城橋から河口まで）及び貞山堀沿いに仙台市行政区域までの西側区域
6. 事 務 所 多賀城市桜木二丁目 2 番 20 号 丸信ビル内
TEL 02236 (2) 3123
7. 例 会 場 多賀城市八幡四丁目 3 番 14 号 徳陽相互銀行多賀城支店内
TEL 02236 (3) 1346
8. 取 引 銀 行 徳陽相互銀行多賀城支店
9. スポンサークラブ 仙台東ロータリークラブ
10. 特 別 代 表 佐 藤 一 雄
11. 会 員 数 正 会 員 30 名
名 誉 会 員 1 名 伊藤喜一郎多賀城市長
12. 職 業 分 類 充 填 30 名
未 充 填 37 名
13. 会 員 年 令

年 令	30 才 位	40 才 位	50 才 位	60 才 位
人 数	8 名	9 名	8 名	5 名